

					R8年度 医学科 学位授与方針 (ディプロマ・ポリシー (DP)) (3=DP達成のために、特に重要な事項 2=DP達成のために、重要な事項 1=DP達成のため、望ましい項目 0=達成しない項目は空欄。)																		
時間割コード (7桁)	授業科目	履修学年	通年	前期	後期	内容	SBO(行動目標)、学修成果(到達目標)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13			
						GIO(一般目標)、学修目標																	
101675J	生物物質科学	1年			2	生体は、主に糖質、脂質、タンパク質、核酸等の有機物質から構成されており、特に生命現象や生体の機能、さらには疾患の原因等を分子レベルで理解するには、それらの生体有機物質の化学構造、性質、機能等に関する化学的な理解が不可欠である。そのような観点から、この授業では、まず基本的な官能基をもつ有機化合物の性質や反応を説明し、さらにその官能基の性質や反応性に基づいて糖質(単糖類、二糖類、多糖類)、脂質、アミノ酸・タンパク質、核酸の基本的な構造と性質・機能について解説する。	1. 有機化合物の主な官能基を列挙し、その性質を説明できる。2. 有機化合物の命名法を説明できる。3. 置換反応、脱離反応、付加反応を説明できる。4. 糖質(単糖類、二糖類、多糖類)の基本的な構造と性質・機能を説明できる。5. 脂質の基本的な構造と性質・機能を説明できる。6. アミノ酸の種類と性質を説明できる。7. タンパク質の基本的な構造と機能を説明できる。8. スクレンシド・スクレオチド・核酸の構造と性質・機能を説明できる。						1										
101665A 101665B	自然科学実習(生物学) 自然科学実習(物理学・化学)	1年			2	1. 顕微鏡の取り扱い、観察法を修得する。 2. 細胞、染色体、組織、器官、個体までの観察を通して生物の全体像を把握する。 3. 科学的プレゼンテーションの方法とレポート作成能力を鍛える。 化学や物理学の実験がどのように行われるかを修得することにより、1) 物質の反応や性質、実験の原理や法則に対する理解を深める。2) 原理に立ち返って考える習慣や注意深い観察力を養う。3) 実験器具の取り扱い方を学ぶ、ことが重要な目的である。教科書ではわずか1行しか記述されていないような事実にも、それが確立されるまでに膨大な実験が行われているのが普通である。講義による受動的な学習では、つい忘れがちになることを、みずから実験し能動的に学習することによりいささかでも感じ取ってもらいたい。	1. 実験の基本操作を身につける。 2. 顕微鏡を自由に操作し、すばやく対象物を見ることが出来るようになる。 3. パワーポイントを使ったプレゼンテーションの基本を身につける。 4. レポートを書く科学的表現能力を高める。 1) 実習指針の原理を理解し、その指示にしたがって実験を行い、実験内容や測定値を記録することができる。 2) 実験記録に基づいて実験結果を述べ、または、測定結果を解析し指定された物理量を算出できる。 さらに、適切な考察を加えてレポートを作成することができる。			1													
101920J	情報学・統計学演習	1年			1	情報科学演習で学んだ情報リテラシー、統計分析手法を基礎として、医療データ解析に広く使われる各種応用統計手法について統計処理ソフトを用いながら実習形式で学習する。	1. 統計処理ソフトを用いて、前期・情報科学演習で学んだ手法による統計解析を実施できる。2. 統計処理ソフトを用いて、次の各手法による統計解析を実施できる。・ノンパラメトリック検定(マン・ホイットニーのU検定など) ・カイ二乗検定及びフィッシャーの正確確率検定 ・二元配分分析、共分散分析 ・ロジスティック回帰 ・生存時間解析(生存率の推定、2群の生存率の比較、Cox回帰) ・主成分分析						3	3				3		3			
110530J	組織学	1年			64時間	人体の構造を機能と関連づけて深く理解するために、ミクロ的視点(組織・細胞レベル)から構築形態を認識するとともに、組織標本の光学顕微鏡(光顕)的および電子顕微鏡(電顕)的観察能力を養う。	1. 細胞の基本的構造を光顕的および電顕的に説明する。2. 各組織の構成要素を顕微鏡的に理解し、組織全体の構成を説明する。3. どのような組織が何かに組み合わさって各器官や臓器が構成されているのかを説明する。4. 組織・器官・器系の組織学的構成を機能と関連して説明する。5. 染色法について理解し、各組織標本の染色について判別、説明する。6. 染色法、組織学的的手法、免疫組織学的手法など、標本作製の手技について説明する。7. 組織標本を観視して所見をスケッチし、構成要素を特定するとともに、その組織学的特徴を記述する。 実習前に配布する実習書に記載する。	1			2			1			3			3	1		
110755J	生化学(実習)	1年			72時間	生命科学分野で新たな遺伝子工学が誕生してまだ歴史は浅いが、多くの分子生物学の実験手法が開発された。この技術のおかげで、30億にのぼる塩基対からなるゲノムが解析され、特定の遺伝子を単離すること、また単離された遺伝子の構造を調べ、その機能を探ることも可能となった。今日までに膨大な数の遺伝子の詳細な構造が解明され、分子レベルでの生命現象の解明が大いに進んだ。医学の分野においてももちろんである。見当もつかなかった遺伝子の病原因子が特定され、遺伝子を利用した新しい診断法や治療法が開発されている。遺伝子工学の誕生は、生命科学に劇的な進歩をもたらしただけでなく、分子細胞生物学・生化学の実験科学の本質を変えた。生化学実習では分子細胞生物学の講義内容に基づき実習を展開し、実習で得た知識・技術を生化学を始めとする基礎医学や臨床医学を理解する礎とする。	実習前に配布する実習書に記載する。					3	2		3				3		3		
112820J	免疫学(基礎)	1年			28時間	免疫学は、近年の生命科学の中で最も発展した医学の分野です。免疫反応を担う細胞や因子が多様な相互作用を通じてシステム全体を恒常的に維持するというメカニズムが解明されつつあります。また、免疫システムの機能的バランスが生体の恒常性維持に不可欠であり、この破綻が自己免疫疾患、アレルギー、癌などの様々な疾患につながることも明らかになりました。免疫システムの基本は、生物学的「自己」と「非自己」を識別することです。免疫システムは、病原体である非自己を排除することにより自己の全性を守ります。では、病原体の非自己に対する反応の多様性はどのように制御されているのでしょうか?免疫はどうして自己を攻撃しないのでしょうか?生物学的な自己と非自己を識別する仕組みはどうなっているのでしょうか?免疫記憶とはどのような機序なのでしょうか?1年生後期の免疫学(基礎)の講義と実習では、これらのメカニズムを理解するために必要な免疫学の基礎を学んでもらいます。(2年生後期(免疫学(展開))では、免疫応答が関わる具体的な疾患やその治療法について学んでもらいます)	1. 免疫系を構成する細胞・因子とその動態を説明できる。2. 自然免疫と獲得免疫の違いを説明できる。3. 免疫システムの多様性獲得の分子基盤を説明できる。4. 細胞性免疫と液性免疫の抗原認識の違いを説明できる。5. 免疫システムにおけるMHCの役割を説明できる。6. Tリンパ球とBリンパ球の分化と成熟を説明できる。7. 免疫記憶の機序を説明できる。8. 自然免疫細胞の機能と役割を説明できる。9. 変容シグナル伝達機構を説明できる。10. サイトカイン・ケモカインの種類と機能を説明できる。11. 免疫応答におけるサイトカインネットワークを説明できる。12. 免疫応答の調節機構を説明できる。								3	3		3			3		
118615J	地域医療体験実習Ⅰ	1~6年			20時間	地域医療の現状ならびに課題を理解し、その地域に必要な医療・保健・介護・福祉について学び、医師として地域医療に貢献するための能力を獲得する。実際に医療現場を経験することにより、プライマリ・ケアや地域包括ケアの重要性を理解する。	地域医療・地域保健の在り方と現状及び課題を理解し、地域医療に貢献するための能力を獲得する。			2	2		2		3	3		2		2		3	
118616J	地域医療体験実習Ⅱ	1~6年			20時間	地域医療の現状ならびに課題を理解し、その地域に必要な医療・保健・介護・福祉について学び、医師として地域医療に貢献するための能力を獲得する。実際に医療現場を経験することにより、プライマリ・ケアや地域包括ケアの重要性を理解する。また、鳥獣獣の地域医療の魅力や課題を学ぶ。	地域医療・地域保健の在り方と現状及び課題を理解し、地域医療に貢献するための能力を獲得する。			2	2		2		3	3		2		2		3	
118606U	医学研究の基礎	1~6年			120時間	医学者が将来研究を志すなど、研究を実際に行うことに強い関心を持つ場合、基礎となる研究・手技等を教員の指導のもと、学生が自主的かつ主体的に研究・手技修得を通じ科学的思考力を養う。	研究成果をまとめ、論文作成・発表能力を養う。			2													
118607J	上級TOEICセミナーⅠ	1~6年			20時間	本科目は、TOEIC Listening & Reading Test 600点(日常生活のニーズを充足し限定された範囲内では業務上のコミュニケーションができるレベル)のスコアを有する学生に認定する科目です。*本科目は医学部の英語教育高度化プログラム「Advanced English Skills Course」の対象科目です。在学中に本コースの科目群から合計120時間(看護学科3単位)以上履修した学生には修了認定証(Certificate for Advanced English Skills)が授与されます。	(1) 文レベルからある程度まとまった量の英語を読み、その内容が理解できる。(2) 与えられた英文について、すばやく的確な文法的判断ができる。(3) 与えられた英語の文章について、求められた情報をさっと読みとることができる。															3	
118608J	上級TOEICセミナーⅡ	1~6年			20時間	本科目は、TOEIC Listening & Reading Test 730点(どんな状況でも適切なコミュニケーションができる奥地を備えているレベル)のスコアを有する学生に認定する科目です。*本科目は医学部の英語教育高度化プログラム「Advanced English Skills Course」の対象科目です。在学中に本コースの科目群から合計120時間(看護学科3単位)以上履修した学生には修了認定証(Certificate for Advanced English Skills)が授与されます。	(1) 文レベルからある程度まとまった量の英語を読み、その内容が理解できる。(2) 与えられた英文について、すばやく的確な文法的判断ができる。(3) 与えられた英語の文章について、求められた情報をさっと読みとることができる。															3	
118609J	グローバルリテラシーセミナーⅠ	1~6年			20時間	高度な英語コミュニケーション能力を身につけるとともに、異文化間に生じる課題を検討し、国際感覚あふれるグローバルな視野から物事を批判的に捉えることができる資質(グローバル・リテラシー)を身につけることを目的とする。本授業では、適切な英語表現を用いてディスカッションをする、意見を述べる、議論を進行する、進捗状況を報告する、といった様々なミーティングの場面に役立つ英語表現の演習を行う。*本科目は医学部の英語教育高度化プログラム「Advanced English Skills Course」の対象科目です。在学中に本コースの科目群から合計120時間(看護学科3単位)以上履修した学生には修了認定証(Certificate for Advanced English Skills)が授与されます。	Students will gain confidence and the ability to express themselves more clearly.Meeting Skills:・How to politely speak up and express opinions・How to agree and disagree with others・How to report progress・Setting up a meeting and steps of the meeting															3	
118610J	グローバルリテラシーセミナーⅡ	1~6年			20時間	高度な英語コミュニケーション能力を身につけるとともに、異文化間に生じる課題を検討し、国際感覚あふれるグローバルな視野から物事を批判的に捉えることができる資質(グローバル・リテラシー)を身につけることを目的とする。本授業では、ディスカッションやディベートにおいて、相手の意見に同意する、反対する、要求を伝える、相手や自分のニーズを理解した上で議論する、妥協点を見出す、といった英語による「交渉スキル(negotiating skills)」を身につけるための実践的な語学演習を行います。*本科目は医学部の英語教育高度化プログラム「Advanced English Skills Course」の対象科目です。在学中に本コースの科目群から合計120時間(看護学科3単位)以上履修した学生には修了認定証(Certificate for Advanced English Skills)が授与されます。	Students will gain confidence and the ability to express themselves more clearly in order to obtain their goals.Negotiating Skills:・How to prepare for negotiating by considering the needs and wants of others and yourself・How to express your needs and wants・How to agree and disagree with others・How to bargain and compromise															3	
118611J	海外留学セミナー	1~6年			20時間	This course is designed as a practical overview of culture and intercultural communication. The teacher will attempt to link theory, research, practice and experience with specific activities to help the students develop cultural awareness. Students will also study and use basic powerpoint skills to create short group presentations to introduce Japanese culture, the Izumo area, our school and the healthcare system of Japan when they go overseas.本授業では、海外研修や留学に必要な語学演習を行うとともに、異文化の理解関する理解を深めます。また日本や島根の文化、大学、日本の医療制度を英語で紹介するプレゼンテーションの演習を行います。(海外研修A参加者は必修) *本科目は医学部の英語教育高度化プログラム「Advanced English Skills Course」の対象科目です。在学中に本コースの科目群から合計120時間(看護学科3単位)以上履修した学生には修了認定証(Certificate for Advanced English Skills)が授与されます。	Speaking: Advanced practice of key vocabulary and sentence patterns essential to basic conversational skills.Culture: Improved self-awareness as well as deeper cultural awareness.Technology: work with basic powerpoint techniques.																3
118612J	臨床英語	1~6年			20時間	本科目は医学英文の読解や英語によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて、臨床に必要な英語力の向上を目指します。*本科目は医学部の英語教育高度化プログラム「Advanced English Skills Course」の対象科目です。在学中に本コースの科目群から合計120時間(看護学科3単位)以上履修した学生には修了認定証(Certificate for Advanced English Skills)が授与されます。	1) 臨床、基礎医学に関する科学的・医学的事項に関して英語で発表、プレゼンテーションができる2) 英語で質疑応答することができる3) 英語で記載された症例報告や研究論文を理解し、他者へ口頭で伝えることができる															3	
118613J	アカデミックイングリッシュA	1~6年			20時間	The mere ability to speak English is no guarantee that a person can present in English. Presentations in English will build and improve student English skills and knowledge and give confidence to make effective presentations in English. セミナーや学会で英語でプレゼンテーションの際に必要な基礎的なプレゼンテーションスキルの向上を目指した語学演習を行います。*本科目は医学部の英語教育高度化プログラム「Advanced English Skills Course」の対象科目です。在学中に本コースの科目群から合計120時間(看護学科3単位)以上履修した学生には修了認定証(Certificate for Advanced English Skills)が授与されます。	Students will analyze various presentations, give full presentations, get feedback and set targets for future presentations. The focus will be on the students at all stages. We will encourage each student to analyze, experiment, take a risk, have fun, accept, reject and finally, to find out what works personally for each student.																3
118614J	アカデミックイングリッシュB	1~6年			20時間	This course is designed as an elective course for students wishing to advance their academic writing skills. We are striving to provide students with a practical and efficient approach to learning the skills, strategies and knowledge necessary for successful writing.本授業では、英語論文やレポート執筆の際に必要な上級レベルのライティング能力の向上を目指した語学演習を行います。*本科目は医学部の英語教育高度化プログラム「Advanced English Skills Course」の対象科目です。在学中に本コースの科目群から合計120時間(看護学科3単位)以上履修した学生には修了認定証(Certificate for Advanced English Skills)が授与されます。	Each unit contains an authentic text to support students by providing ideas and context. Students will read and analyze these texts to see how others have written on the same or similar topics. The students will be encouraged to work together, share ideas and edit their own writing to refine their writing to be the best it can be.																3
118603I	海外研修A	1~6年			40時間	(1)基礎的な英語コミュニケーション能力と専門英語(医学英語、看護英語)の基礎力向上をはかり、 (2)海外の医療教育機関や施設の見学を通じて、医療に関する知識や視野を広げ、 (3)ホームステイ等による異文化交流体験を通じて国際性を養うこと	・医療に関する英語の基本的な語彙や表現を理解し、表現できる ・海外(ニュージーランド)の文化や医療制度について理解できる ・ホストファミリー、現地の学生や医療関係者の方々と交流を通じて、医療人として必要な国際性を身につけること ・日本の文化や医療制度について英語を使って紹介できる ・研修中の団体行動を通じて、協調性やリーダーシップを発揮できる															3	

					R8年度 医学科 学位授与方針 (ディプロマ・ポリシー (DP)) (3=DP達成のために、特に重要な事項 2=DP達成のために、重要な事項 1=DP達成のため、望ましい項目 あてはまらない項目は空欄。)															
時間割コード (7桁)	授業科目	履修学年	週単 前期	後期	GIO(一般目標)、学修目標	SBO(行動目標)、学修成果(到達目標)	医療人としての適切な判断力・行動力	コミュニケーション能力	問題解決・自己研鑽能力	知識を統合し活用する能力	臨床能力(知識・技能・態度を統合し活用する能力)	研究への志向力	グローバル化への志向力	地域医療への志 向力						
112730J	ウイルス学	3年		22 時間	1.分類学・形態学・生理学・生化学・分子生物学・遺伝学を用いてウイルスを理解する。2.感染と発症を、ウイルスの病原性と宿主側の防御因子との攻防という視点で捉える。そのために、感染成立から発症にいたる過程を、免疫学と分子生物学の知識を動員して理解する。3.減菌・消毒法、化学療法、ワクチン予防法を理解する。4.ウイルス学的検査法(培養法・免疫学的検査法・遺伝子検査法)の概略を理解する。5.個々のウイルス疾患の特徴、ウイルスの形態、病原性、生存増殖戦略、などを理解する。6.DNAプローブ法やPCR法による細菌・ウイルスの迅速検査法の手順と理論について説明できる。7.感染症の疫学、病態、診断、予防・治療法を理解する。	1.ウイルス学の歴史の概略を述べる。2.ウイルスの分類法および病原性ウイルスの分類学的な位置を述べる。3.ウイルスの複製と遺伝、および遺伝子工学研究法についての概略を述べる。4.ウイルス感染症の定義と分類、複製、感染成立の要因を判明する。5.ウイルス感染症の診断法、経過、治療法を述べる。6.抗ウイルス療法とワクチンについて述べる。7.感染経路について理解している。8.病原微生物の滅菌法と消毒法についての理論と実際について説明できる。9.次のウイルスの分類・形態・生理・病原性、感染症の病態・疫学、診断・予防・治療法の概略を述べる。1) ヒコルナウイルス(腸内・ライノウイルス、HAV) 2) トガウイルス(アルファ・ベータウイルス) フラビウイルス(黄熱・日本脳炎・デング熱ウイルス・HCV) 3) ラブドウイルス(狂犬病ウイルス) 4) オルソミクソウイルス(インフルエンザウイルス) 5) パラミクソウイルス(ムンプス、麻疹、RSウイルス) 6) アレナウイルス(ラッサ熱・LCMウイルス) 7) フェイウイルス(ハンタウイルス・シマ・ノンプレ・アルボウイルス) 8) レオウイルス(ロタウイルス) 9) フィロウイルス(エボラ・マールブルグウイルス) 10) レトロウイルス(オンコウイルス[白血病・肉腫ウイルス、HTLV-1]、レンチウイルス[HIV]) 11) カリシウイルス(ノロウイルス) 12) コロナウイルス(SARSウイルス)、アストロウイルス13) アデノウイルス14) ヘルペスウイルス(HSV-1、HSV-2、VZV、EBV、CMV、HHV-6、HHV-7、KSHV) 15) ポックスウイルス(痘毒・伝染性軟弱腫ウイルス) 16) ハパウイルス(ヒトパピローマ・ポリオマ・JCウイルス) 17) バルボウイルス(バルボウイルスB19) 18) ヘパドナウイルス(HBV)、デルタウイルス(DeltaV)、ヘベウイルス(HEV) 19) プリオン							3				3			
113015J	放射線基礎医学	3年		10 時間	臨床医学に役立つ、放射線医学の基礎と総論を理解する。	1.放射線の単位および物理的性質を理解する。 2.放射線の細胞・組織への生物学的作用を理解する。 3.医療被曝・職業被曝軽減のために必要な放射線障害・防護に関する知識を得る。 4.放射線の発生原理と画像作成原理を理解する。 5.画像診断学の基礎を理解する。 6.画像診断を学び、各種画像診断法における正常像を知る。	2		1		2	2	2	2						
114515J	環境保健医学Ⅰ(公衆衛生学)	3年		15 時間	地域における疾病予防と健康増進を目指した地域保健・医療活動ができるようになるために、社会における健康課題とその成因・背景を、疫学を基礎として理解する。また、ライフサイクルに沿った健康課題に対して、根拠に基づく予防対策を身につける。保健医療政策により社会における疾病予防を理解する。公衆衛生学の理解により、社会や生活と医学・医療の構成しができることを目標とする。	1.公衆衛生学がどのような学問か説明できる。2.疫学的重要性、疫学手法の種類と特徴、疫学の実用を理解する。3.保健統計を理解し、わが国の健康課題を説明できる。4.母子保健の仕組みと母子保健サービスについて説明できる。5.小児保健の概念と日本・海外における取組を概説できる。6.学校保健の概念と日本・海外における取組を概説できる。7.主な生活習慣病の動向、その発生要因、予防方法を概説できる。8.国や地方の保健医療行政における健康課題に対する取組について説明できる。9.国際保健に関する理解を深め、国際保健協力について概説できる。10.災害時の保健医療体制と現状について理解する。11.グループダイナミクスを通じ、チーム医療の重要性を理解できる。							3	3	3					
114525J	環境保健医学Ⅱ(環境予防医学)	3年		15 時間	基礎医学及び臨床医学で鑑別、機能的に学習してきた健康問題を、一人の人間が様々な生活環境とライフスタイルの中で経験する健康問題として総合的にみる視点を習得する。その視点のもとに、臨床現場でのプライマリヘルスケア実践に必要な予防医学の考え方や方法を学習する。	1.予防医学の視点を習得し、予防医学の重要性を説明できる。 2.産業医の職務と、作業管理・作業環境管理・健康管理について説明できる。 3.労働環境の特徴を健康問題と関連づけて理解し、労働災害や職業病の現状を概説できる。 4.産業現場で起こる中毒や職業がんについて理解し、その予防策を概説できる。 5.日常生活における環境起因性疾患について説明できる。 6.空気・水・物理的環境要因による生体および影響について概説できる。 7.マラリアやその他の原虫の病態とその対応が説明できる。 8.寄生虫や病原動物による疾病を理解し、プライマリケアにおける対応ができる。 9.コミュニティヘルスケアの立場から、疾病の予防について説明できる。 10.地域保健医療の実践を理解するとともに、それに必要な対応ができる。			3				3	3						
114615J	法医学	3年		13 時間	法医学は医学の中では法医学に属し、「法律が適正に運用されているか否か」、「社会の疾病」を対象とする応用医学である。法医学の意義は主に法医学的資料を資料として行われるが、臨床医を志す医学学生にも実際に法医学の知識が必要となる。死体現象、痲痺、窒息、異常温度死、内因性急死、嬰兒死、法医学中毒学、血液型、個人識別等の実務的なものから、死の判定、脳死、臓器移植、体外受精、遺伝子操作等の医の倫理を含めた社会的問題に至る広範な分野を取り扱う。	1. 個体死や脳死の概念を正確に把握し、これらの相違が認識できる。2. 早期および晩期死体現象の特徴を理解し、死後経過時間や死亡時刻が推定できる。3. 創傷を観察し、その性状、程度、種類、凶器の種類、受傷機軸等が正確に判断できる。4. 死亡診断書(死体検案書)を法医学的に正確に記載する方法を修得する。5. 法医学的資料として、必要な検査項目が推定できる。6. 薬物中毒の一般的な知識を修得し、発生頻度の高い中毒の分析方法、結果の吟味ができる。7. 血液型の種類、遺伝形式を学び一般的なABO式血液型やRh式血液型について判定ができる。8. 死後画像検査(AICT)の利点、欠点を理解し、死因を推定できる。	3	3	3				3							
114635J	医事法制	3年		7 時間	医学の急速な進展は、医療技術の複雑化と細分化をもたらし、これと同時に医師に対する注意義務構造の変化を産み、医事法制を重視する必要性が生じてきた。医事紛争は年々増加の傾向を示しており、医学部学生が医療に関する法的な知識を身につけることは単に自己防衛的な知識を得ることではなく、医療行為というものが近代国家の社会規範の中でどのように位置づけられ、期待されるものかを明らかに認識するために最早必須と言える。	1. 民事法における不法行為、債務不履行の概念を修得し、医療行為と事故との因果関係に関する考察ができる。2. 刑法の構造を理解し、治療行為の構成要件、違法性、有罪性に関する法的理論を展開できる。3. インフォームドコンセント、尊厳死、安楽死、脳死と臓器移植、生殖医療技術等に関する医師の責務について考察できる。	3	3	2			2								
118200J	研究室配属	3年		15 0 時間	研究室配属では、各講座で行われている医学的研究に学生が参加して、実験やデータ解析、フィールドワーク、臨床研究など様々な研究活動を実際に行う。	このような活動により、科学的思考や研究の進め方の基本を身につけるとともに、医学研究の面白さを体験することを目的とする。	2	2	2	2	2	3	2	3	2					
116401J	総合診療・地域医療	3年		30 時間	総合診療・地域医療コースでは、生涯学習として必要なスキルである自己主導型学習を学び、それを実践するために、Problem-based-Learning形式での学習を行う。臨床実習、初期研修に進んだ際に活用できる一般的な能力の取得につながる教育を提供する。内容としては、問診から始まる初期診療の組み立ての学習が中心となる。日常診療で多い症候に対して鑑別診断を挙げ、その仮説を修正しながら考えていく思考プロセスを身につける。	1.問診、身体所見、検査所見から診断に導く初期診療の組み立てを理解し、基本的診療計画を立案できる。 2.病歴を聴取できる。 3.患者の疾患・病い・健康観を理解する事について知識を有する。患者の疾患・病い・健康観を統合して理解する事について知識を有する。患者のコンテキストを理解する事について知識を有する。 4.臨床推論について説明できる。 5.血液検査、尿検査の基準範囲の意義を理解し、測定誤差の原因を説明できる。 6.日常診療で多い症候(発熱、咳、腹痛、嘔吐)について、鑑別診断を説明できる。 7.一般的な身体診察法(基本的な流れ、バイタルサインの解釈)についての知識を有する。 8.一般的な身体診察法(胸部の聴診)の結果を解釈できる。 9.疑問を調べる際の適切な方法を説明できる。 10.論文を読むための基本的な型を理解する。 11.疑問を調べる際の基本的な医学英語を理解できる。 12.在宅医療で行う範囲、在宅医療の価値・意義について、患者の自己実現支援という観点から理解する。 13.介護保険制度の概要について知識を得る。介護保険制度において、医師は主治医見直しを作成する必要がある事を理解する。 14.主治医見直しの記載方法、ADLレベル、認知症レベルの判定方法について理解する。介護保険制度における介護サービスの種類、内容、適応について知識を得る。 15.総合診療及び総合診療医の役割について説明できる。									1	2	3	1	2	2
116403J	消化器	3年		90 時間	消化器系の正常構造と機能を理解し、主要な消化器疾患の病態生理、原因、症状、診断、鑑別診断と治療を学ぶ。	1.消化器系各臓器の構造と機能を理解する。 2.主な消化器疾患の原因、病態、症状、診断、治療、疫学について理解する。 3.消化器疾患の主な検査法の特徴を理解する。 4.消化器系の救急疾患に対する対処法を理解する。 5.消化器疾患の病理についてその特徴を理解する。	2	2	2	2	2	2	2	1	2	2	2			

						R8年度 医学科 学位授与方針 (ディプロマ・ポリシー (DP)) (3=DP達成のために、特に重要な事項 2=DP達成のために、重要な事項 1=DP達成のため、望ましい項目 あるいはまらぬ項目は空欄。)												
						医療人としての適切な判断力・行動力	コミュニケーション能力		問題解決・自己研鑽能力		知識を統合し活用する能力	臨床能力 (知識・技能・態度を統合し活用する能力)		研究への志向力	グローバル化への志向力	地域医療への志向力		
時間割コード (7桁)	授業科目	履修学年	週単	後期	GIO(一般目標)、学修目標	SBO(行動目標)、学修成果(到達目標)												
116413J	成長・発達	4年		30時間	1. 新しい生命が誕生してから、新生児、乳児、幼児、学童、思春期を経て成人までの身体的成長 (臓器の発達) および機能発達 (神経、精神、情緒、社会性の発達) について説明できる。 2. 成長・発達過程で起こる「形態的障害」と「機能的障害」に分けて説明できる。 3. 小児保健活動の内容と意義を説明できる。 4. 新生児の分類、生理、評価方法について説明できる。 5. 新生児に起こる疾患の種類、診断と治療を説明できる。 6. 先天奇形・遺伝性疾患のみかた、臨床症状、病態、病因を系統的に説明できる。 7. 遺伝カウンセリングの目的、必要性、手法を系統的に説明できる。 8. 神経精神障害をきたす疾患の分類、病因、診断、治療について説明できる。 9. 先天性心疾患の血行動態、診断、治療について説明できる。 10. 小児の血液腫瘍・アレルギー・感染症・消化器・歯科領域の診断、治療を説明できる。 11. 小児の内分泌代謝疾患の種類、診断、治療を説明できる。													
116414J	精神・行動	4年		30時間	1. 精神医学に関する主要原因、病態、機序、治療について理解する。 2. 精神医学の多面的な精神病理学的側面、身体医学的側面、社会医学的側面を理解する。 3. 精神疾患患者ならびに疾患に関する問題を精神医学的に捉え解決するために、診察法、面接の仕方、症状を把握する能力、習慣を養う。													
116419J	診察診断学・共用試験	4年		120時間	患者の訴えから病態を正しく把握する医療面接の基本的な手法を学ぶとともに、身体診察法の基本手技を講義、シミュレーター等による実習、OSCE演習を通して体得する。	1. 患者の訴えを聞いて病歴をとり、診療録に記載できる。 2. バイタルサイン、皮膚や体型、胸部、腹部などの理学所見をとり、系統的に診療録に記載できる。 3. 救急時に求められる対応の原則を説明でき、実際にACLSが実施できる。 4. 小児や妊婦に伴う医療面接と身体診察の留意点を説明できる。 5. 医療における安全性の確保と危機管理の原則を説明できる。 6. 臨床試験や遺伝子診断・治療、緩和医療などにおけるインフォームド・コンセントの原則を説明できる。 7. 臨床実習を行うために必要な医学知識を習得しているかを確認する。												
116320J 116311J	臨床実習 I・II	4~6年		3040時間	将来医師として必要な実践的臨床能力を修得することを目標とする。	・ 患者や指導医、病棟スタッフと良好な関係を築く能力 ・ 患者から情報を的確に聞きだし、まとめる能力 ・ 身体所見を正しくとり、診療内容を記載する能力 ・ 要点を把握し、プレゼンテーションする能力 ・ 基本的検査・基本的操作処置を実施する能力 ・ 問題点を抽出し、解決に向かって系統的にアプローチする能力 ・ 患者から得た情報と臨床病理学の知識を統合する能力 ・ 学習に必要な情報を図書館やコンピューターを使って見つける能力												
116503J	膠原病	4年		30時間	膠原病および膠原病類似疾患、自己炎症性疾患、免疫不全症の病態を理解し、症状、診断、治療について学ぶ。	1. 各疾患における原因、病理所見を理解する。 2. 各疾患における血液検査、尿検査、免疫学的検査の意義や動向を理解する。 3. 各種自己抗体と疾患や病態との関連性を理解する。 4. 各疾患における病態、症状、診断法、治療、予後について理解する。 5. 自己免疫、自己炎症の概念を理解する。 6. 副腎皮質ステロイド薬および免疫抑制薬の作用、副作用を理解する。 7. 標的治療と免疫学的機序の関係を理解する。 8. 原発性免疫不全症の病因 (機序)、症状、診断、治療、予後について理解する。												
116504J	アレルギー・皮膚	4年		30時間	皮膚は生体と外界を境界する器官であり、それ自身である内臓臓器と連携しながら種々の機能を果たしている。このような観点から皮膚に関する生理的及び病的状態が理解できるように努力する。 アレルギーの機序を理解し、アレルギー機序が関連する疾患について、症状、診断、治療について学ぶ。	1. 皮膚の構造と機能を理解する。 2. 皮膚の見方とそのバックグラウンドを理解する。 3. 皮膚疾患の検査法を理解する。 4. 皮膚疾患の診断の進めかたを理解する。 5. 皮膚と内臓臓器との関連を理解する。 6. 皮膚疾患の治療法を理解する。 1. アレルギーの5型の機序を理解する。 2. アレルギー機序の関与する皮膚科、耳鼻咽喉科、眼科、呼吸器科領域の疾患について理解する。 3. アレルギー疾患の治療法について理解する。												
116411J	麻酔・救急・Acute Care Surgery	4年		90時間	・ 麻酔・全身管理に必要な基礎的知識および技能を習得する。 ・ 救急医療を理解するために、社会的なシステムと救急疾患の初期治療を学ぶ。 ・ 集中治療 管理 の必要性を理解し、その基本的治療を学ぶ。 ・ Acute Care Surgery の専門性を理解し、治療戦略について説明できる													
116415J	腫瘍・緩和ケア・老年学	4年		90時間	臨床腫瘍学・緩和ケア・老年学 について 理解する。	1. 臨床腫瘍学における基礎研究、病理、臨床薬理について説明できる。 2. がん化学療法、放射線治療の目的、適応、有害反応について説明できる。 3. がんの診断、検査について説明できる。 4. がん化学療法の有害反応とその対策について説明できる。 5. 遺伝性腫瘍やがんゲノム医療について説明できる。 6. がんに対する外科治療の目的、適応、合併症について説明できる。 7. 各種がんに対する標準的治療法の概念と適応について説明できる。 8. がん化学療法の有害反応とその対策について説明できる。 9. 緩和ケアの概念について理解する。 10. 痛みや症状を和らげるための知識とその対応法を理解する。 11. 加齢に伴う身体的変化、精神・心理的变化、高齢者に特徴的な病態を理解する。 12. 高齢者がんに対する治療の特性や方法を説明できる。 13. 高齢者に対するリハビリテーションの目的、適応、方法を説明できる。												
116501J	呼吸器・感染症	4年		90時間	・ 呼吸器系の構造と機能を理解し、主な呼吸器疾患の病因、病態生理、症状、診断と治療を学ぶ。 ・ 主要な感染症の疫学、病態生理、症状、診断と治療を学ぶ。診断と治療に必要な病原微生物、感染臓器と治療薬の関連性を理解する。	1. 呼吸器感染症では、主な病原体を列挙し、症状、診断と治療を説明できる。 2. 呼吸器の異常について、概説できる。												
116502J	循環器	4年		60時間	循環器系の正常な構造と機能を知り、主要な循環器疾患の病態生理を理解し、診断・治療を行うための基本を習得する。	1. 循環器系を理解し、各種の心疾患の原因、病態、診断、治療を学ぶ。 2. 不整脈の病態、診断、治療を学ぶ。 3. 心血管疾患の外科治療を学ぶ。 4. 高血圧、動脈硬化について学ぶ。												
118606J	医療におけるSDGs	2~6年		15時間	医学士・看護学生に持続可能な開発目標 (SDGs) の意義と、その達成に向けた具体的なアプローチを理解させること。特に、医療とSDGsの関連性を深く掘り下げ、医療現場で必要とされるSDGsの具体的な実践方法を考察し、提案できる能力を身につける。 ・ 医療現場におけるSDGsの具体的な実践方法を考察し、提案できる能力を身につける。 ・ SDGsの観点から医療倫理や社会的課題を分析し、持続可能な解決策を導き出す力を養う。	・ 持続可能な開発目標 (SDGs) の基本概念と医療との関連性を理解し説明できるようになる。 ・ 医療現場におけるSDGsの具体的な実践方法を考察し、提案できる能力を身につける。 ・ SDGsの観点から医療倫理や社会的課題を分析し、持続可能な解決策を導き出す力を養う。												

						R8年度 医学科 学位授与方針 (ディプロマ・ポリシー (DP)) (3=DP達成のために、特に重要な事項 2=DP達成のために、重要な事項 1=DP達成のため、望ましい項目 あてはまらない項目は空欄。)															
						医療人としての適切な判断力・行動力	コミュニケーション能力	問題解決・自己研鑽能力	知識を統合し活用する能力	臨床能力 (知識・技能・態度を統合し活用する能力)	研究への志向力	グローバル化への志向力	地域医療への志向力								
時間割コード (7桁)	授業科目	履修学年	通年	前期	後期	GIO(一般目標)、学修目標	SBO(行動目標)、学修成果(到達目標)														
118701J	総合診療のコアコンピテンシー	4~6年		60時間		1. 総合診療マインドを持つ医学生が、通常の臨床実習に比して、より実践的で実用的な総合診療に接することで、その責務を修得する。 2. 診療所や病院において、通常の臨床実習では修得が困難な、人間中心の医療・ケアについての知識・技能・態度を修得する。 3. 上記について6年間で体系的にコースに取り組むことで、総合診療領域におけるコア・コンピテンシーについて、6年生修了時に初期臨床研修医師7時の習熟度に達することを目標とする。	1. 総合診療領域におけるコア・コンピテンシーの「人間中心の医療・ケア」について説明できる。 2. 医療現場での実習を行い、体験事例に対しての「人間中心の医療・ケア」についてのポートフォリオを作成できる。 3. 一般外来患者に対して、医療面接と基本的身体診察法を施行し、診断仮説を立てることができる。 4. 一般外来患者に対して、生命に関わる重篤な疾患と、頻度の高い疾患を意識した診断仮説を立てることができる。	3	3	3	2	2	2	2	3	3	3	2	2	3	
118705J	しまね総合診療医の集い	1~6年		15時間		1. 総合診療マインドを持つ医学生が、通常の臨床実習に比して、より実践的で実用的な総合診療に接することで、その責務を修得する。 2. 診療所や病院において、通常の臨床実習では修得が困難な、人間中心の医療・ケアについての知識・技能・態度を修得する。 3. 上記について6年間で体系的にコースに取り組むことで、総合診療領域におけるコア・コンピテンシーについて、6年生修了時に初期臨床研修医師7時の習熟度に達することを目標とする。	1. 総合診療領域におけるコア・コンピテンシーの「人間中心の医療・ケア」について説明できる。 2. 医療現場での実習を行い、体験事例に対しての「人間中心の医療・ケア」についてのポートフォリオを作成できる。 3. 一般外来患者に対して、医療面接と基本的身体診察法を施行し、診断仮説を立てることができる。 4. 一般外来患者に対して、生命に関わる重篤な疾患と、頻度の高い疾患を意識した診断仮説を立てることができる。														
118706J	臨床スキル育成セミナーⅠ	1~6年		20時間		1. 総合診療マインドを持つ医学生が、通常の臨床実習に比して、より実践的で実用的な総合診療に接することで、その責務を修得する。	1. 一般外来患者に対して、医療面接と基本的身体診察法を施行し、診断仮説を立てることができる。 2. 一般外来患者に対して、生命に関わる重篤な疾患と、頻度の高い疾患を意識した診断仮説を立てることができる。	2		2	2	2	2	3	3	3					2
118707J	臨床スキル育成セミナーⅡ	1~6年		20時間		1. 総合診療マインドを持つ医学生が、通常の臨床実習に比して、より実践的で実用的な総合診療に接することで、その責務を修得する。	1. 一般外来患者に対して、医療面接と基本的身体診察法を施行し、診断仮説を立てることができる。 2. 一般外来患者に対して、生命に関わる重篤な疾患と、頻度の高い疾患を意識した診断仮説を立てることができる。	2		2	2	2	2	3	3	3					2
118708J	ハンズオンエコーセミナーⅠ	1~5年		20時間		1. 総合診療マインドを持つ医学生が、通常の臨床実習に比して、より実践的で実用的な総合診療に接することで、その責務を修得する。 2. 実臨床で有用とされるレベルのエコーの実技履修とエコーレポートの作成ができる。	1. 実臨床でのエコー検査の適応について修得し、説明ができる。 2. 実臨床で有用とされるレベルのエコー実技ができる。 3. 実臨床で有用とされるレベルのエコーレポートの作成ができる。									3					
118709J	ハンズオンエコーセミナーⅡ	4~6年		20時間		1. 総合診療マインドを持つ医学生が、通常の臨床実習に比して、より実践的で実用的な総合診療に接することで、その責務を修得する。 2. 実臨床で有用とされるレベルのエコーの実技履修とエコーレポートの作成ができる。	1. 実臨床でのエコー検査の適応について修得し、説明ができる。 2. 実臨床で有用とされるレベルのエコー実技ができる。 3. 実臨床で有用とされるレベルのエコーレポートの作成ができる。									3					
118710J	臨床研究(学会発表・論文作成)	1~6年		15時間		1. 総合診療マインドを持つ医学生が、通常の臨床実習に比して、より実践的で実用的な総合診療に接することで、その責務を修得する。 2. 実臨床で活用できる、臨床疫学・統計学・EBMについての知識・技能を身につける。 3. 総合診療に関する学会発表や論文作成を行う。	1. 総合診療領域において、症例報告・研究による学会発表や論文作成をすることができる。	2		2	2	2	2	2	2		3	3			2
118711J	胸部画像コース	4~6年		15時間		1. 総合診療マインドを持つ医学生が、通常の臨床実習に比して、より実践的で実用的な総合診療に接することで、その責務を修得する。 【ディプロマシートの関連】 《臨床能力(知識・技能・態度を統合し活用する能力)》	1. 総合診療マインドを持つ医学生が、通常の臨床実習に比して、より実践的で実用的な総合診療に接することでその責務を修得する。 2. 実臨床で必須とされるレベルの胸部画像読影と読影レポートの作成ができる。						2	2	1	2					